

航 空 自 衛 隊 仕 様 書				
仕様書の 種 類	内容による分類	装 備 品 等 仕 様 書		
	性質による分類	個 別 仕 様 書		
物品番号		仕 様 書 番 号		
品 名 又は 件 名	トラック 4 t 4 × 4 カーゴ (3 t クレーン付) -----	C P S - V 2 3 2 1 3		
		大臣承認	平成 年 月 日	
		作成	平成 2 1 年 6 月 1 6 日	
		改正	平成 年 月 日	
			平成 年 月 日	
作成部隊等名	補 給 本 部			

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、航空自衛隊の基地及び周辺において、重量投下訓練の支援として回収作業に使用するトラック 4 t 4 × 4 カーゴ (3 t クレーン付) について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書に用いる主な用語及び定義は、C & L P S - V 0 0 0 0 8 及び C & L P S - Y 0 0 0 0 7 による。

1.3 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

なお、引用文書に定める内容がこの仕様書に定める内容と相違する場合は、c) を除き、この仕様書に定める内容が優先する。

a) 規格

J I S K 5 5 7 2 フタル酸樹脂エナメル

J I S K 5 6 5 1 アミノアルキド樹脂塗料

N D S Z 8 2 0 1 標準色

b) 仕様書

C & L P S - V 0 0 0 0 8 車両等共通仕様書

C & L P S - Y 0 0 0 0 7 調達品一般共通仕様書

c) 法令等

自衛隊の使用する自動車に関する訓令 (昭和 4 5 年防衛庁訓令第 1 号)

品名	トラック 4 t 4 × 4 カーゴ (3 t クレーン付)
----	--------------------------------

クレーン等安全規則 (昭和 47 年労働省令第 34 号)

移動式クレーン構造規格 (平成 7 年労働省告示第 135 号)

2 製品に関する要求

2.1 一般的要求

一般的要求は、C&LPS-V00008 の 2.1 による。

2.2 材料・部品・加工方法

材料、部品及び加工方法は、C&LPS-V00008 の 2.2 による。

2.3 構成

構成は、次による。

- a) 機関
- b) 動力伝達装置
- c) ブレーキ装置
- d) 操縦室
- e) 動力取出装置
- f) 荷台
- g) クレーン装置

2.4 構造・形状・寸法・質量

2.4.1 構造

構造は、次によるほか、市販のキャブオーバ (ワイドタイプ) 型貨物自動車と同様の全輪駆動のシャシで操縦室と荷台間に最大容量 2900 kg の油圧クレーンを装備し、クレーン等安全規則、移動式クレーン構造規格及び自衛隊の使用する自動車に関する訓令 (以下“訓令”という。) に適合するものとする。

なお、その他規定にない事項については、製造会社標準仕様とする。

2.4.1.1 機関

機関は、次による。

- a) 形式 水冷ディーゼル機関
- b) 総排気量 6.4 L 以上
- c) 最高出力 125 kW 以上
- d) 最大トルク 441.3 N・m 以上

品名	トラック 4 t 4 × 4 カーゴ (3 t クレーン付)
----	--------------------------------

2.4.1.2 動力伝達装置

製造会社標準仕様とする。

なお、後輪はダブルタイヤとする。

2.4.1.3 ブレーキ装置

製造会社標準仕様とするほか、ABS付とする。

2.4.1.4 操縦室

操縦室は、次によるほか、全鋼製箱型とする。

- 乗車定員は、3名とする。
- 計器類は、運転席の見やすい位置に設けるものとし、製造会社標準仕様の計器類のほか、運行記録計の電気式1日計(120km/h)を取り付けるものとする。
- エアコン(製造会社標準仕様)を取り付けるものとする。
- 粉末消火器ABC・1.8kg・加圧式・自動車用(消防法規格の適合品)の取付金具を操縦席付近に設けるものとする。
- AM/FMラジオ(製造会社標準仕様)を取り付けるものとする。

2.4.1.5 動力取出装置

クレーン用動力のP.T.O.を設けるものとする。

2.4.1.6 荷台

全鋼製平床三方開きとする。

2.4.1.7 クレーン装置

クレーン装置は、次によるほか、操縦室と荷台との間に装備するものとし、荷重計、巻き込み防止装置、荷重指示計、玉掛ロープ外れ止め、油圧安全弁、油圧自動ロック装置、警報ブザー、転倒防止装置、過負荷警報装置、ブーム・アウトリガ未格納警報装置及び同等の安全装置を設けるものとする。

なお、作業状態を視認しながら各操作(クレーン両サイドの操作レバー)を1人で容易にでき、かつ、安全であるものとする。

- ブームの構造は、鋼製箱形断面溶接組立2段又は3段伸縮式とする。
- ブームの伸縮は、油圧シリンダ直押式とする。
- ブームの起伏は、油圧シリンダ押上式とする。
- 巻上装置は、油圧モータ駆動による平歯車減速式(メカニカルブレーキ付)とする。
- フックの格納は、自動格納方式とする。

品名	トラック 4 t 4 × 4 カargo (3 t クレーン付)
----	----------------------------------

- f) 旋回装置は、油圧モータ駆動による平歯車減速式（ボールベアリング方式）とする。
g) アウトリガーは、複動油圧シリンダー直押式（手動引出式）とする。

2.4.1.8 その他

その他は、次による。

- a) 訓令の保安基準の灯火類の外に夜間においてクレーン操作のための作業灯を鳥居上部に装着する。
b) 予備タイヤ取付具は、荷台下面に装備する。
c) ロープ掛けフックは、荷台の左右側面に直径 16 mm の L 形丸鋼を各 11 個以上及び後方側面に 4 個以上取り付けるものとする。

2.4.2 形状・寸法

形状及び寸法は、次によるほか、細部は承認図面による。

- a) 車体 車体は、次による。
- 1) 全長 最大 9 9 0 0 mm
 - 2) 全幅 最大 2 5 0 0 mm
 - 3) 全高 最大 3 6 0 0 mm
- b) 荷台 荷台は、次による。ただし、いずれも内側寸法とする。
- 1) 全長 最小 5 5 0 0 mm
 - 2) 全幅 最小 2 2 5 0 mm
 - 3) 全高 約 4 0 0 mm

2.4.3 質量

質量は、次による。

- a) 車両質量 最大 7 5 0 0 kg
b) 最大積載量 4 0 0 0 kg 以上
c) 車両総質量 最大 1 4 0 0 0 kg

2.5 外観・性能

2.5.1 外観

外観は、次による。

- a) 有害な傷、割れ、まくれ、その他の欠陥があってはならない。
b) 各部の塗装及びめっきにむらがあってはならない。

品 名	トラック 4 t 4 × 4 カーゴ (3 t クレーン付)
-----	--------------------------------

- c) 塗装は、C&LPS-V00008の2.3 によるほか、車体外部は、JIS K 55 72の半つや外部用又はJIS K 5651の半つや外部用（それぞれの同等品を含む。）で、NDS Z 8201の色番号2314 OD色により塗装するものとし、細部は承認図面による。

2.5.2 性能

2.5.2.1 走行性能

走行性能は、次による。

- a) 最高速度 80 km/h 以上
- b) 最小回転半径 10 m 以下

2.5.2.2 クレーン性能

クレーン性能は、次による。

- a) つり上げ能力は、作業半径 5.2 m 時において、最大 1000 kg 以上（空車時とし、つり用具の質量を含む。）とする。
- b) クレーン作業半径は、次による。
 - 1) 最大 約 5.2 m 以上
 - 2) 最小 約 1.0 m 以下
- c) 最大巻き上げ速度は、16 m/min 以上（ロープの速度とする。）とする。
- d) 旋回角度（連続）は、360°（すべての作業状態において）とする。
- e) ブーム起伏角度範囲水平面 は、約 1° ～ 78° の範囲（すべての作業状態において）とする。
- f) 最大地上揚程は、5 m 以上とする。

2.6 製品の表示

製品の表示は、C&LPS-V00008の2.4 によるほか、細部は承認図面による。

3 監督・検査

契約担当官等の定める監督及び検査実施要領に基づき実施する。

4 出荷条件

出荷条件は、商慣習による。

5 その他の指示

5.1 提出書類等

提出書類等は、次による。

- a) 類別原資料は、C&LPS-Y00007の4.1.1 による。

品名	トラック 4 t 4 × 4 カーゴ (3 t クレーン付)
----	--------------------------------

- b) 取扱説明書は、C&LPS-V00008の5.1.2 による。
- c) 車両法適用除外指定申出書関連書類は、C&LPS-V00008の5.1.3 による。
- d) 完成写真等は、C&LPS-V00008の5.1.5 による。
- e) 車両等主要諸元資料は、C&LPS-V00008の5.1.6 による。

5.2 自動車検査証・車歴簿

自動車検査証及び車歴簿は、C&LPS-V00008の5.3 及び5.5 による。

5.3 附属品・予備品

附属品及び予備品は、次によるほか、C&LPS-V00008の5.6 による。

- a) 附属品 附属品は、次による。
 - 1) 非常信号灯 [国土交通省保安基準適合品、乾電池式(単3アルカリ乾電池)、懐中電灯兼用式、ミニチュアバルブ(2.5V以上、0.3A)、肩掛けフック付き] 1個
 - 2) 粉末消火器 ABC・1.8kg・加圧式・自動車用(消防法規格の適合品) 1個
- b) 予備品 予備品は、予備タイヤ(ディスクホイール付き) 1本とする。

5.4 承認用図面・色見本

契約相手方は、C&LPS-Y00007の4.3 により次の承認用図面及び色見本を作成のうえ、提出し、承認を受けるものとする。

- a) 承認用図面 承認用図面は、次による。
 - 1) 外形図(寸法及び質量を含む。)
 - 2) 塗装配置図
 - 3) 航空自衛隊標識図
 - 4) 銘板
 - 5) その他必要な図面

- b) 色見本 車体外部

5.5 装備品等不具合報告(UR)対策

装備品等不具合報告(UR)対策は、C&LPS-Y00007の4.4 による。